

放牧酪農シンポジウム開催要領

開催要旨

TPP11 や EU との EPA 発効、更にアメリカからの二国間交渉の強要に伴い、農産物輸入の自由化は着実に歩を進めています。近年国内でも需要が高まっているナチュラルチーズにおいても、とりわけ欧州産のハード系チーズが 16 年後には関税が撤廃され、国内産チーズにも本格的な国際競争の荒波が押し寄せようとしています。対抗するには、如何に生産コストを引き下げて、安全・安心な牛乳・乳製品を消費者に届けていけるかにかかっています。放牧は、輸入飼料に依存しないことから安定的な低コスト生産が可能で、物質循環・環境保全に配慮しています。また、アニマルウエルフェアにも適合し有機農業にも匹敵するくらい自然や牛、人にやさしく、外圧にも負けない酪農を支える農法です。このことを、消費者にも広く知ってもらい、安全・安心な日本の酪農・乳製品をこれからも支えていくためのシンポジウムを開催します。

日時：平成 31 年 3 月 4 日（月）

場所：東京都内（東京都文京区湯島 3-6-1 全国家電会館）

| | | |
|---------|-------------|---|
| 開会 | 13:10 | |
| 1. 開会挨拶 | 13:10~13:20 | |
| 2. 講演 | ① | 13:20~14:10 放牧酪農の有利性（仮題） 協会放牧アドバイザー 須藤純一 |
| | ② | 14:10~15:00 アニマルウエルフェアと放牧 帯広畜産大学畜産学部 准教授 瀬尾哲也氏 |
| 休憩時間 | 15:00~15:15 | |
| | ③ | 15:15~16:05 放牧牛乳の持つ特徴的成分 農研機構畜産研究部門 放牧家畜ユニット長 梅村恭子氏 |
| 3. 事例発表 | ① | 16:05~16:55 放牧酪農の実践（仮題） 北海道足寄町 吉川友二氏 |
| | ② | 16:55~17:15 放牧認証制度と全国ネットワーク 一般社団法人日本草地畜産種子協会 |
| 閉会 | 17:15 | |